



**JASDAQ**

平成 25 年 10 月 28 日

各 位

東京都品川区東品川四丁目 12 番 8 号  
株 式 会 社 S J I  
代 表 取 締 役 社 長 李 堅  
(JASDAQ: 2315)

問 合 せ 先 :  
取 締 役 大 槻 二 郎  
Tel 03-5769-8200 (代表)

## 当社の重要子会社である中訊軟件集團股份有限公司の

### 会計監査人の解任の提案に関するお知らせ

当社の重要子会社である中訊軟件集團股份有限公司（英文名：SinoCom Software Group Limited 以下、「SinoCom」といいます。）は、SinoComの臨時株主総会（以下、「臨時株主総会」といいます。）の承認を条件として、SinoComの会計監査人であるDeloitte Touche Tohmatsu（以下、「Deloitte」といいます。）を解任することを開示しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

#### 記

##### 1. Deloitteの解任提案

Deloitteの解任を臨時株主総会に提案する主たる理由は、SinoComが2013年8月18日に公表したとおり、SinoComはDeloitteから2012年決算に対して「意見不表明」とする監査意見ドラフトが提出されたことを受け、SinoComの董事会において、慎重な審議を行った結果、Deloitteの監査意見ドラフトの内容及びその根拠について同意できず、監査意見書ドラフトを不承認としたことにあります。

##### 2. Deloitteからの意見

SinoComの董事会における決定を受けて、Deloitteは、株主の関心事項として、次のような見解を述べております。

- ・ 董事会は本件融資（注）の目的及び商業的実体について、担当董事からの説明について納得することができなかったこと、また、本件融資及び本件融資に関わる資金の流れの目的及び商業的実体を立証する情報及び十分な説明がなされず、資金の流れのいくつかは、本件融資の目的として担当董事から説明されたものと整合的でないと思われること、さらに、本件融資に関連する一部の書類が、聞くところによれば担当董事の指示によって、調査期間中に廃棄され、それが修復できないこと、などにより、DeloitteはSinoComグループの連結決算報告書において、何らかの残債務を含む本件融資

の効果及び負担が正しく処理されているかについて、納得することができなかった。

- Deloitteが上記の事項につき納得がいく説明を受けていれば、2012年12月31日時点のSinoComグループの純資産、及び2012年12月31日に終了する利益に対して重要な影響を与えていたであろう何らかの調整が必要になっていた可能性があり、またそれらの取引の性質に関する追加情報が連結決算報告書において開示されていたかもしれない。

注：本件融資の内容につきましては、平成25年8月30日付で当社が開示した「当社の重要子会社である中訊軟件集団股份有限公司の現状とこれまでの経緯に関するお知らせ」をご参照ください。なお、本件融資に関しましては、2013年2月末には全額返済されております。

### 3. SinoComの今後の見通しについて

SinoComの董事会は、上記のDeloitteからの意見に対して、同意できないと述べており、臨時株主総会の招集通知と併せて、Deloitteの解任に関するより詳細な情報、及び解任に関する見解について、株主へ出来る限り速やかに送付します。

### 4. SinoComの2012年12月期決算について

SinoComの2012年12月期決算は遅延しており未だ発表されておられません。決算発表があり次第、当社として速やかに開示してまいります。

### 5. 当社に対する影響について

この度のSinoComの会計監査人の解任の提案による、当社連結決算への影響はございません。

注：上記「1. Deloitteの解任提案」「2. Deloitteからの意見(但し、注記を除く)」「3. SinoComの今後の見通しについて」は、英文と中国語文で公表されたSinoComの開示文書を日本語訳し、簡潔にまとめたものです。全文はSinoComが公表した開示文書をご参照下さい。

株主の皆様には、ご心配をお掛け致しておりますが、何卒宜しくご理解の程お願い申し上げます。

以上